

日 時 :平成20年5月24日(土) 9:00 ~ 12:00

場 所 :新宿区立新宿消費生活センター第3会議室

出席者 :鈴木・西尾・蘭・富澤・市川・田中・谷本・佐藤・藁谷・高木・大井 計11名

欠席者 :加藤

書記:大井

議 題 1. 前回(4/12)の議事録の確認 2. ホームページ立ち上げについて 3. 新年総会について
4. 新聞発行について 5. H20年度予算書について 6. 新学年幹事について 7. 東京支部新会員名簿について
8. 新入生歓迎会について 9. 野球部後援会費について 10. その他

議事

議事に入るまえに、鈴木支部長よりの挨拶があり、ホームページの件、名簿の件、東京双葉支部の名称の件の話があり、続いて高木幹事よりホームページ立ち上げのプレゼンテーションを藁谷さんをお願いする話があった。

1. 前回議事録の確認: 前回議事録を谷本さんが説明する(別紙参照)。了承される。

2. ホームページ立ち上げについて

藁谷さんのレジュメ(別紙参照)により ①サーバーの選定は無料のものを使用する。②URLは、<http://tokyousendan.aikotoba.jp/>にする。しかし、「梅檀会」のPRが必要な意見あり。③ホームページの内容(別紙参照): 「新着情報 お知らせ 報告 同好会 新聞 メール登録 リンク サイトマップ」をどうするかは、仮のページを作成し積み上げて行く。④個人情報の扱い 公開の場合、慎重に取り扱いどのような弊害が発生するかを考慮する必要あり。ホームページのタイトルは「東京梅檀会」の漢字とする。「梅檀会」を「ひらがな」にするのか「漢字」にするのかの論議をする時間はなかった。

「新入生歓迎会(夏か秋)」を立ち上げてはどうか幹事長よりあり、時期をいつにするか検討が必要。ホームページ作成は広報の一環なので広報とHPワーキンググループは連絡を取りあい、どう若い世代に広げて行くかを検討する。

3. 新年総会について

市川さんより 1月24日(土)、「東海大学校友会館・藤の間」を仮予約してあるとの話あり。人数は座席で100名前後の立食形式となる。会場使用料は昨年並か? 昨年に引き続き東海大学校友会館を使用。

4. 新聞発行について

佐藤副幹事長より、レジュメ(別紙参照)により説明あり。「双高東京同窓会 第4号 企画案 : 1面 ・新年会のお知らせ ・鈴木新体制発足 ・鈴木新支部長あいさつ(決意表明) 2面 ・会費値上げのお願い(市川) ・新執行部の活動 3面(模様紹介) ・母校便り 家庭クラブ 全国大会の結果(7月、鳥取)・ゴルフ大会(6月予定、荒川) ・囲碁クラブ(再建)(牛渡)」 4面 同級会など紹介記事。「人の欄」はよく読まれる; たとえば「こんな人」の欄を設け2・3名の様々な分野で活躍している卒業生を紹介する。また、「会員便り」の欄を設け、会員の2、3行の近況報告を掲載する(蘭)。蘭さんの欧州旅行記(缶詰は何時でも紹介できる)。URL(HPの紹介)を入れる。編集委員の高30名の委員を紹介してほしい。新聞編集委員会候補者の了解を得る。委員に市川さん(高14)を入れる。新聞発行予定

工程（盆明けに一度経過報告を戴くが編集長より後日連絡をする）1）原稿締め切り 10月15日 2）初稿校閲編集会議 11月上旬 3）最終チェック 11月中旬 4）最終稿 サラト便送 12月1日。〔新聞編集委員会〕 鈴木秀夫（高12） 高木成幸（高13） 西尾宣明（高4） 石川忠克（高2） 木幡 實（高12） 蘭 香代子（高20） 加藤淳子（高26） 矢島幸子（高26） 藁谷 至（高44） 佐藤宏秀（高12）

5. 平成20年度予算書について

H20年度の予算書を作成するのは、お金の流れを明確にすることで必要なこと（幹事長）。お金の流れに疑義をはさむ方もおられるので、新聞に掲載してはどうかの提案あり。（収入が5～60万で、支出はほとんど新年会（47万）、総会案内の郵送費（？）となっている。支部長・幹事長で予算案を作成するので過去の参考資料をご提出願います）。一般会計と特別会計の議論も出た。

6. 新学年幹事について

7. 東京支部新会員名簿について

富澤さんより作成された「福島県立双葉高等学校同窓会 東京支部役員及び学年幹事等名簿」及び「福島県立双葉高等学校同窓会 東京支部会費納入名簿」を提示される。明らかな誤りを訂正する。4月の幹事会以降、新学年幹事の任命は、支部長名で依頼し、その際 E-mail アドレスも記載してもらう。早速、葉書の文面を作成し学年幹事より送付する（大井）。

8. 新入生歓迎会について

高木幹事長に一任するも、開催時期をいつにするのか。新入生にとっては、初めての都会暮らしであるのでOB/OGの助言は今でも心に残っており、有益であったの意見あり（谷本）。実施の方向で進める。

9. 野球部後援会費について

なぜ野球部だけなのか。これまでの経緯があり、今回は5万円の寄付は了承されたが、検討の余地あり。東京野球部OB会ができていますので連絡し討議が必要。

10. その他

バナー広告を活用して収入の道をはかる（将来的には）。福高東京支部はHPに広告を載せている。